

Live The Adventure



vol.4

In the Sea



ボルネオの海と自然 海洋生物の宝庫に見る海の未来

ボルネオ島の北東部に浮かぶ小さな島、シバダン島。

長さ500m、幅200mほどしかないこの島が、タヒチやメキシコ、コスメル島などと並んで「世界三大ダイビングスポット」と称されることがある。

それだけ海洋生物が豊富なのである。たとえば、ほかのエリアではなかなか見ることができなくなつたような魚でさえ、ここでは群れをなして悠々と泳いでいる姿を目撃することができる。

シバダン島周辺の海は、プランクトンが非常に豊富で、それゆえに海水の透明度という点では他のエリアに劣るのだが、その点を差し引いて

も「世界三大」と言われてしまうだけの、生物の豊かさがここにはあるというわけだ。

世界の海洋生物の発祥の地がボルネオ周辺の海だとする学説もある。この海に棲息する海洋生物の種類は、世界に類を見ないほど多い。そして、ボルネオから離れるにしたがつてその数は減っていくという。それは、ここで生まれた生物がだんだんと世界の海に広がっていった結果だというのである。

「海洋生物の宝庫」——。まさにその名にふさわしいボルネオの海。しかしここもパラダイスはばかりではない。自然と人間の共存が問われはじめている。

世界有数の豊かな海、ボルネオ。 今、そこでは…

カンムリブダイが群れて見られるのは、シパダン島の海の大きな魅力だ © Yusuke Yoshino



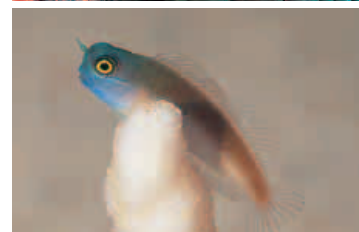
「シパダン——といえば、やはりウミガメじゃないかな。数的に多いだけじゃなくて、このウミガメは、人間が近づいてもなぜか逃げないんですよ。こんなところはあまりないですね」

海洋写真家として、世界中の海を取材で飛び回る吉野雄輔さんはそう語る。「タートルアイランド」と呼ばれることもあるシパダン島では、ウミガメは島の象徴ともなっている。写真家だけでなく、ダイバーから旅行者まで、ウミガメとの遭遇を目的に、世界中から人が集まってくる。旅行ツアーでも、ウミガメ見学がひとつの目玉として企画されることが多い。

「ウミガメと並んで重要なのがカンムリブダイ。日本では数少なくなってしまった魚なんですけど、ここでは群れをなして泳いでいる。大きな魚だから、これはなかなか圧巻な光景です。カンムリブダイの群れを見られる海は、世界でもなかなかありませんよ」

カンムリブダイはサンゴを食べて生きている魚。その強力な歯でサンゴをかじりとり、食料としているのだ。それが豊富ということは、すなわちシパダンの海にはサンゴも豊富ということの証でもある。

ウミガメとカンムリブダイのほかにも、バラクーダやアジの大群が泳ぎ回り、サメがのんびり休憩し、小さな魚やエビやイソギンチャク、ウミウシなどが、その種類も数も数え切れないほどあちこちに……。まさに「海洋生物の楽園」のイメージがありありと浮かんでくる。



上) イソバナに寄ってきたハナミノカサゴ 中) サゴゴにちょこんと乗って休むギンゴの一種 鮮やかなクダゴンベ 下) 色 © Yusuke Yoshino

アブラヤシプランテーションの開発によって棲息地を追われている、ジャングルに棲む動物たちの危機的状況にくらべると、同じボルネオでも、海は自然は良好に保たれているように思える。しかし、近年、その楽園にひとつの事件が起きた。

2004年、マレーシア政府は、シパダン島にあるリゾート施設の撤去と、自由な入島を制限する方針を発表した。それまでシパダン島には6軒のリゾート施設があり、ダイバーや観光客は自由に島を訪れ、ダイビングや海水浴を楽しんできた。し



シパダン周辺の海岸風景。地元の漁師は、昔から漁と環境のバランスを壊すことなく共存してきた © Yusuke Yoshino

かし1990年代後半からオーバーユースが目立ち始め、リゾート施設からの排水などによって、周辺海域の汚染が問題視されたのである。世界中から多くの人が訪れるに値する海は自然がここにはあるが、その魅力の大きさに匹敵するほどには、島の面積は大きくなかったのだ。

シパダン島の大きさは約500m x 200mというのは、東京ドーム2つほどにすぎない。リゾート施設が6軒も存在するには小さすぎるといえるだろう。そこに世界中から人が訪れれば、オーバーユースになるのは当然だともいえる。

現在、シパダン島にあったリゾート施設は周辺のマブルル島などに移転している。ダイビングを楽しむこと自体は可能だが、1日に120人までという制限が設けられた。

こうしたことは、現地を訪れたこともない人からすると、海に向こうの遠い出来事と感ずるかもしれない。しかし、日本人としては他人事ではいられない事情もある。というのは、入島制限が実施される前に、もっとも多くシパダン島を訪れていたのは日本人というのだから。



右) 通称「タートルアイランド」シパダン島を象徴するアオウミガメ。人間が近づいても逃げようとしないう上) 笑っている人の顔のような模様が印象的なホヤ。こうした色とりどりの生物が豊富に棲息している ©Yusuke Yoshino



その意味で、私たち日本人は、この「世界有数の海洋生物の宝庫」を守っていく責任があるといえるだろう。幸い、リゾート施設が撤去され、入島制限が実施されて以降、シパダン島の海は、本来の豊かさを取り戻しているという。

しかし、それでシパダン島の問題は解決するかもしれないが、ボルネオには、ほかにも海が美しいことで知られる多くのスポットがある。シパダンに入れなくなった観光客は自然、そちらに流れていくことになる。近い将来、「第二のシパダン」が出現する可能性は充分あるのだ。

ボルネオの「緑の回廊計画」支援に取り組んできたハンティンク・ワールドでは、チャリティーグッズの販売などを通じて、こうした問題についてもアピールを続けていく。

「世界有数」「楽園」……、最高の言葉で賛辞されてきた海を後生に残していくには、今の私たちの行動こそが重要になってきているのだから。

好評のチャリティーバッグ第3弾が登場

テーマは“海の生物”。Tシャツやポロシャツなどラインアップも充実。

NPO法人ボルネオ保全トラスト (BCT) の活動支援を目的に作られたチャリティーグッズ。これまで2タイプのバッグやスエットパーカなどを発売してきた。第3弾となるチャリティーバッグは、「ボルネオの海」をテーマに設定。ボルネオのジャングルに棲む動物をデザインした第2弾が「陸バージョン」ならば、今回は「海バージョン」。海をイメージさせるブルーを基調に、

ボルネオ近海に暮らす海洋生物をイラストで表現した。これまでと同様にリバーシブル仕様で、新たにショルダータイプも加わった。

バッグと合わせて、チャリティーTシャツとポロシャツも発売。それぞれ、メンズ、レディス計4タイプをラインアップ。これらチャリティーグッズの売上の1%がBCTに寄付される。

チャリティーバッグ

#7104 W33×H33×D12cm ¥15,750
#7106 W32.5×H37cm ¥14,700
#7107 W46×H35×D15cm ¥14,700

表地にオーガニックデニム、裏地にナイロンを使用した2タイプと、表地にオーガニックコットンを使用したトートの全3型



#7104



#7107



#7106



1



2



3



4



5

1) 波しぶきをイメージしたオーガニックデニム 2) 海洋生物のイラストが描かれた裏地は機能的なナイロン 3) ポケットの内側には仕切りが設けられて、小物の整理に便利 4) ショルダーの開閉部とトートのハンドルはマグネットで止められる 5) オーガニックコットンタイプ (#7107) の裏地はカラーイラスト

チャリティーTシャツ

メンズは「Live The Adventure」のロゴ、レディスは海の生物をデザインモチーフにしたコットンTシャツ

Men's
SIZE:M~LL
COLOR:White, Olive, Navy
FABLIC:cotton 100%
¥6,300

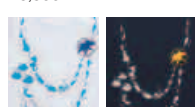
Lady's
SIZE:M~LL
COLOR:White, Navy, Pink
FABLIC:cotton 100%
¥6,300



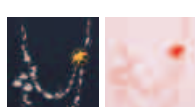
White



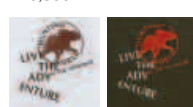
Olive



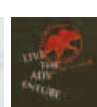
White



Navy



White



Olive



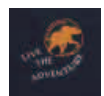
White



Pink



Navy



Navy

チャリティーポロシャツ

ブランドロゴをワンポイントであしらったポロシャツ。メンズ、レディスともに3色カラー展開

Men's
SIZE:M~LL
COLOR:White, Olive, Navy
FABLIC:cotton 100%
¥10,500

Lady's
SIZE:M~LL
COLOR:White, Navy, Pink
FABLIC:cotton 100%
¥10,500

Catch up!

BATTUE LEATHER recommended by LEON

雑誌「LEON」とのコラボレーションによる復刻



#3861
W46.5×H29×D16cm
¥157,500
#3862
W48×H27×D22cm
¥126,000

かつてハンティング・ワールドのコレクションで人気を博したネイビー×バケッタのコンビバッグを雑誌「LEON」が再評価。そのオファーに応じて、定番のダブル (#3862) と、すでに生産中止していたブリーフケース (#3861) のふたつを、当時のイメージそのままに、素材をバチュー・クロスからバチュー・レザーに替えて完全復刻。トラディショナルな品のよさにレザーの上質感が加わったコレクションになっている。

SAFARI DENIM

ヘリンボーン柄デニムの
デイリーバッグ

#9351
W33×H36×D14cm
¥61,950
#9471
W26×H36×D14cm
¥53,550
COLOR:Indigo, Brown



BATTUE LEATHER

オレンジとブラウンの新品が登場

#3816 W28.5×H22.5×D8cm ¥81,900
#3756 W24×H14×D8cm ¥63,000
COLOR:Orange, Brown



SHINY DENIM

ラグジュアリーな
デニムコレクション

#3821A
W38×H25×D10cm
¥89,250



TRANSCEND

新色グリーンが
全7型にラインアップ

#3536
W33×H16×D6cm
¥50,400



MIDLANDS

人気のミッドランズに
待望の新色登場

#3818
W35.5×H29×D13.5cm
¥142,800
COLOR:Brown, Black



WUPATKI

ネイティブアメリカンイメージの新作

#3836 W20×H24.5×D7.5cm ¥157,500
#3837 W41.5×H30×D15cm ¥315,000



NYLON BLOUSON

春先にぴったりのライトパーカ。メンズはキルティングベスト付き

Men's ¥99,750
SIZE:48~54 COLOR:Blue, Brown
FABRIC:nylon100%

Lady's ¥122,850
SIZE:40~44 COLOR:Gray, Navy
FABRIC:polyester65%+cotton35%



BATTUE BEYOND

バスケースも付いた機能的な財布

#894 ¥39,900
W7.5×H10×D2cm
COLOR:Black, Green



BATTUE LEATHER

パンツポケットサイズの三折り財布

#891 W14×H9×D2.5cm ¥51,450
COLOR:Dark brown, Black, Navy, Orange



EMBLEM COLLECTION

白蝶貝をあしらった
キーホルダー

KY037
COLOR:Brown, Black, Beige
¥13,650



EMBLEM COLLECTION

メタルロゴがポイントの
携帯ストラップ

KY038
COLOR:Black, Brown, Beige
¥10,500



News

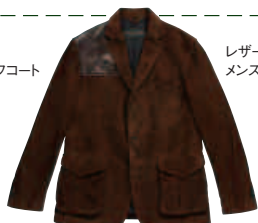
期間限定 オーダー会開催

卓越した縫製技術とオーダーシステムを備えた「麻布テーラー」とのコラボレーションによる、好評のジャケット受注会を今春も開催。今回は春夏仕様のカントリージャケット。同時に、レザージャケットとレザーダウンコートの受注会も開催される。

開催は1月30日～。店舗によって開催日が異なるので、詳しくは最寄りのブティックまでお問い合わせを（カントリージャケット、レザーともに事前予約制）。



レザー
ダウンハーフコート
メンズ



レザージャケット
メンズ



レザー
ダウンコート
レディス



レザージャケット
レディス



カントリージャケット

*表示の価格はすべて1月15日現在の税込価格。各商品の発売時期や仕様については、ブティックスタッフまでお問い合わせください
"Live The Adventure" vol.5は、2009年3月中旬に店頭配布の予定です